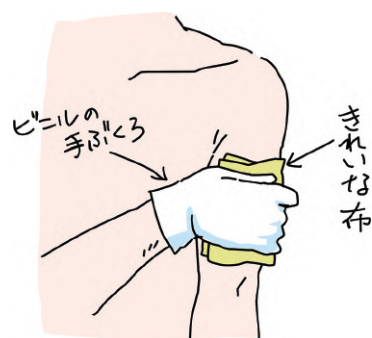


4 けがの手当てについて知ろう

けがをしたときに応急手当てをする方法について考えよう。

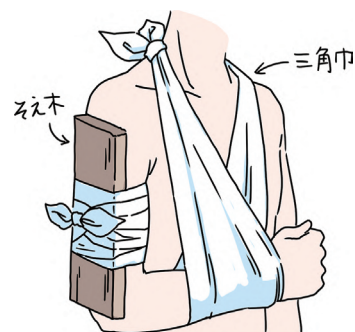
○ 血が出たとき

きれいな布を血が出ている場所に当て、手でおして血を止めます。感染を防止するため、ビニルの手袋をはめて、直接血液にふれないようにします



○ 骨が折れたとき

骨折のおそれがあるときには、その場所が動かないように固定します。固定するときには、そえ木をあてて三角巾などで動かないようにします。



○ やけどをしたとき

なるべく早く、水道水などで冷やします。服を着ている場合は、無理に服を脱がさずに、服の上から水をかけて冷やします。



○ 人がたおれているとき

- ・ 近くにいる大人にすぐ知らせます。
- ・ 声掛けに反応するかを確認します。
- ・ 呼吸があるかどうか確認します。
- ・ 呼吸がないときは、心臓マッサージを行います。



○ A E D (自動体外式除細動器)

- ・ 学校のどこに A E D があるかを
確認しよう。
- ・ A E D を傷病者の横に置き、ふた
をあけて電源を入れます。
- ・ 電極パットを傷病者の肌にはります。
- ・ メッセージに従って操作します。



ふりかえり
